

平成21年度 読書教育重点校 活動報告

あさぎり町立岡原小学校

本校では、児童の読書活動を充実させるために、①学級における読書活動の推進、②魅力ある図書室にするための図書の充実や環境設営、③読み聞かせ活動の推進の3点に力を入れ、取り組んでいます。

①学級における読書活動の推進

【学年指定図書の選定・推進】

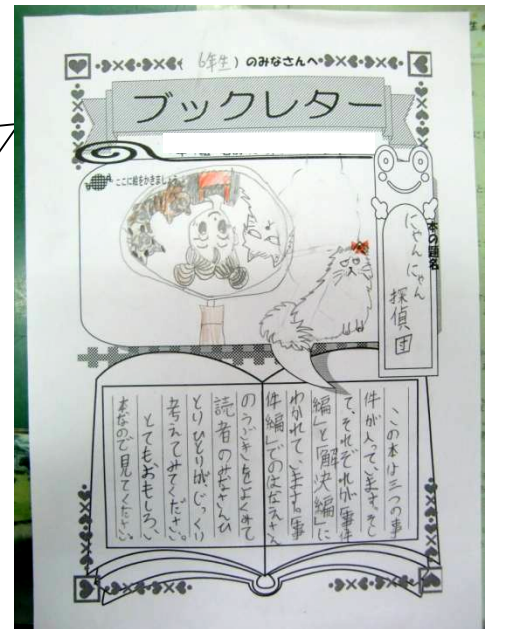
年度初めに学級担任が学年に応じた本・子どもたちに読ませたい本を低学年5冊、中高学年は6冊を「学年指定図書」として選定する。1年間で低学年は5冊、中高学年は6冊の中から3冊選んで読む。指定図書には児童があまり読んでいない「1 哲学・宗教」「2 歴史・地理」「3 社会科学」「4 自然科学」「5 技術」などいろいろなジャンルの本を入れ、読書の幅を広げられるようにした。学年指定図書を選定し、推進することで、よい本と出会う機会を設け、読書が好きな子どもを育てることを目的としている。学期末には、学年で何%の児童が読むことができたのかを数値化し、更なる読書活動の推進に努めている。



学年指定図書

【ブックレター】

読書週間の取り組みの一つとして心に残った本の紹介を行った。6年生⇄5年生、4年生⇄3年生、低学年は自分のクラスに対して行った。自分の読んだ本の中で、心に残った本、おもしろかった本、みんなにも読んでほしい本を1冊選び、紹介しあうことで、本の楽しさを友達と共感することができた。



やりとりをしたブックレターは冊子として綴じ、いつでも見られるように各教室においている。

②魅力ある図書室にするための図書の充実や環境設営

【新刊図書・朝読おすすすめコーナーの設置】

新刊図書のコーナーを設置し、新しい本への出会いを魅力あるものにしていく。また、熊本県教育会館より寄贈していただいた図書協力費で「朝読書におすすすめの本シリーズ」を購入し専用コーナーを設置した。新刊図書がでると、常に貸し出しの状態となり、子どもたちは意欲的に読書活動に親しんでいる。



「朝読書におすすすめの本」コーナー
低学年・高学年向けに分けています



新刊図書の紹介コーナー

③読み聞かせ活動の推進

【図書委員会や職員による読み聞かせ】



読書週間に、図書委員会による読み聞かせ、担任による読み聞かせ、校長・教頭・養護教諭による読み聞かせを行った。

6年図書委員による、1年生への読み聞かせ

校長先生の読み聞かせに、みんな聞き入りました。本への興味をさらに高めることができました。



『たたみちゃん』活動】「たたみちゃん」…保護者と地域の方々のボランティアによる読み聞かせグループ



第3木曜日の朝読書の時間は「たたみちゃん」による読み聞かせです。本校の研究テーマに合わせて、言葉への興味を引き出すような本を選んでいただき、読書への興味を喚起していただいています。



第1・2・4木曜日の昼休みには、図書室の畳が敷かれた「たたみちゃんコーナー」にて読み聞かせをしています。低学年に大人気です。



学習発表会では、大型シアターパネルにて「どうするどうするあなのなか」の読み聞かせをしていただきました。迫力あるパネルに子どもたちは大喜びでした